

JR東海労ニュース

No. 930
2007年 4月 5日
JR東海労働組合

「先陣を切ってベアを引き出した…」？ ちょっと待った！ユニオン！

JR東海ユニオン組織情報No.506によると、07春闘でJR東海ユニオンがJRの先陣を切って「ベア600円」を引き出し、JR連合傘下单組が成果を引き出したことになっている。JR東海の経営状況からすれば、600円という数字は明らかに社員をバカにしたものであるが、そのわずかなベアもJRでNo.1の如く宣伝するJR東海ユニオン幹部のいい加減さには呆れかえる。

JR春闘を最先頭で牽引したのは、言うまでもなくJR東労組であった。JR東日本ではベア900円である。たかが300円の差だとJR東海ユニオン幹部は言いたいのだろうが、新賃金制度で定昇が極端に少なくなったJR東海とでは、比較にならない。所詮「言いなり組合」なのだ。

さて、JR東海ユニオンの要求の基礎は「35才ポイント」である。ところが、会社は等級に応じた配分額を回答した。年令の要求に対しなぜ等級の回答なのか。矛盾は拡大した。つまり、同じ35才でも等級の違いでベア額が違ってくるのだ。配分額は、年令や現賃金に対して決定すべきものである。これこそ、新制度の欠陥である。会社回答の矛盾を指摘しないで、新制度を批判するJR東海労に敵対するようでは、あまりにもお粗末すぎる。JR東海ユニオン組合員の皆さん、もっと怒ろうぜ！

ユニオン幹部のまやかしに、現場組合員は怒りをぶつけよう！